

活動の感想

- ・11月は収穫感謝月間。当たり前のように食べている食材の収穫を神様に感謝していただきました。
- ・10月下旬より野菜（根菜）を募集し、寄付された野菜をふんだんに使ったメニューにしました。
- ・地域の方々をはじめ、他県からも寄付が送られ、野菜豊富なメニューを作ることができました。

感謝します！

（じゃがいも、人参、ねぎ、さつまいも、大根、キャベツ、味噌、りんご、柿、かぼちゃ、ほうれん草、白菜など）

- ・岩手大学からボランティアで手伝いに来てくださり（2回目）、調理場とこどもケアに貢献してくださり、とても助かりました。
- ・アンケートには、お子さんが「こども食堂」を楽しみにしていて、当日朝起きて開口一番に「きょうはこども食堂だね！」と、嬉しそうに言われるそうです。
- ・こどもたちが、普段下校後一緒に遊ぶ時間がなかったり、ましてや、一緒に夕食を食べる機会は滅多にないので、子ども同士で食事して、食後もたっぷり遊んで帰るのはとても楽しいようで、保護者の方々もそれを喜んでおられる。
- ・常連の方々がどんどん友達は同じマンションに住む友人を紹介し、連れてきてくれるようになっていて、その方々がリピーターとなりつつあるのも周知の嬉しい前進です。

今後の課題

- ・まだ「こども食堂」は貧困家庭対象という認識が一般的なので、貧困でない一般家庭の方々が利用してよいものか、戸惑っているという話を聞きました。この名称を続けるかどうかは今後の課題ですし、経済的貧困家庭対象だけでなく、みんなでそれぞれの生活を補い助け合う町づくりの居場所となることを願っています。
- ・外は暗くなる時間が早くなったので、外遊びには大人がついてケアするように気を配る必要があります。
- ・ボランティア（こどもケア、調理）の募集をどのように広めていったらよいのか検討課題です。